

令和7年度釜石市公共下水道事業会計決算の概要

1 収益的収入及び支出（消費税及び地方消費税抜き）

区分	令和7年度（円）	令和6年度（円）	増減（円）
収入決算額	1,337,372,406	1,354,731,276	▲17,358,870
支出決算額	1,333,566,338	1,354,473,908	▲20,907,570
収支差引額	3,806,068	257,368	3,548,700

※令和7年度収支差引額は3,806,068円（前年度比1,378.8%増）の当期純利益を生じ、当年度未処理欠損金は21,664,041円となった。

2 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

区分	令和7年度（円）	令和6年度（円）	増減（円）
収入決算額	298,888,170	412,966,600	▲114,078,430
支出決算額	556,472,283	677,607,648	▲121,135,365
収支差引不足額	257,584,113	264,641,048	▲7,056,935

※令和7年度収支差引不足額（前年度財源充当額38,200,000円を除く。）295,784,113円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,924,066円、過年度分損益勘定留保資金91,482,623円、当年度分損益勘定留保資金183,377,424円で補てんした。なお不足する額12,000,000円は、当年度同意済企業債の未借入分をもって翌年度に措置する。

3 業務量及び経営指標

業務量	単位	令和7年度	令和6年度	増減
処理区域内人口	人	21,458	22,069	▲611
水洗便所設置済人口	人	16,839	17,199	▲360
水洗化率	%	78.5	77.9	0.6
有収水量	m ³	2,162,032	2,193,121	▲31,089
経営指標	単位	令和7年度	令和6年度	増減
経常収支比率	%	100.5	100.0	0.5
経費回収率	%	97.6	94.6	3.0
汚水処理原価	円/m ³	183.7	188.9	▲5.2
管渠老朽化率	%	10.6	10.6	0.0
管渠改善率	%	0.0	0.5	▲0.5

※経常収支比率は、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標であり、100%を上回っている場合は単年度収支が黒字であることを示している。

※経費回収率は、下水道使用料で回収すべき汚水処理費を使用料でどの程度賄えているかを表す指標であり、汚水処理原価は有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用である。汚水処理原価が高くなれば、経費回収率が低くなり、経営の効率性を低下させる要因となる。

※管渠老朽化率は、数値が高いほど施設の老朽化が進んでいることを示し、管路更新率は管渠の更新ペースや状況を把握する指標である。改築等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行い、経営改善の実施や投資計画等の見直しなどに取り組む必要がある。